

コーチング講習

テーマ1

World Rugbyの安全に関する動向

テーマ2

「初心者へのラグビー指導を考える」



タイムスケジュール(45分)

テーマ1

World Rugbyの安全に関する動向(10分)

テーマ2

「初心者へのラグビー指導を考える」(30分)

まとめ(5分)



テーマ1

World Rugbyの安全に関する動向



2016World Rugbyコーチカンファレンス

Player Welfare(プレーヤーが幸福に、そして安全にプレーするために)がテーマとして議論されました。

2016World Rugbyメディカルカンファレンス

ミニラグビーの年代のプレーヤーの安全についてがテーマとなり、今後、各国協会に**安全なパスウェイプログラム**の作成を推奨していくというWRのプランの説明がありました。

今、World Rugbyでは、ラグビーの世界的な発展を踏まえて「安全」ということが一番の課題として議論されています。



World Rugbyから推奨された若年層の コンタクトのルールに関するパスウェイ

U8歳以下程度までは安全に配慮し、対外試合では
コンタクトをせず、タグラグビーを活用したパスウェイ

		U6	U7	U8	U9	U10	U11	U12
WRから良いモデルとして提示された国のルール	ニュージーランド	タグ	タグ	あり	あり	あり	あり	あり
	イングランド	タグ	タグ	タグ	ホールド	あり	あり	あり
	オーストラリア	タグ	タグ	あり	あり	あり	あり	あり
日本の状況	日本	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり



今後について

JRFUのコーチ部門としては、World Rugbyからの提言を踏まえて、ミニラグビーのコンタクトのルールについては、JRFUのミニラグビー部門の方々へ、ルールの再検討の必要性の有無を含め、検討をお願いしていきます。

現状は、特にJRFUとしての方針が決まってる状況ではありませんので、現行のルールで実施してください。



テーマ2

「初心者へのラグビー指導を考える」

ラグビー日本代表の活躍により、ラグビーに興味、関心を持つ人(子ども～大人)が増えています。2019年以降は、さらに、その数が増えることが予想されます。チームでは経験者と未経験者が混在するなど、特に初心者については安全を確保した指導が、今ままで以上に求められます。グループワークを通して、初心者への安全な指導について、参加者同士で情報を共有し、安全への意識を高めてください。



グループワークのテーマ

初心者へのラグビー指導はどうするべきか話し合ってください。

グループで議論・・・・・・・・・・15分程度

(書記1名、進行役1名、発表者1名を決める。)

各グループの内容を発表・・・・・・・・3分程度

グループワークの時間・人数等については、講習会の参加人数を踏まえて、講師の方が調整してください。



まとめ

初心者のプレーヤーについては、安全にフルコンタクトラグビーを実施できるスキルが確保されるまでは、無理にフルコンタクトラグビーの試合には出場させず、簡易ラグビー（ノーコンタクトのタグやタッチ）でプレーの原則を指導しながら、コンタクトスキルについては段階的に指導する。

初心者へのコンタクトの指導は、相手との距離（近く→遠く）、スピード（ゆっくり→はやく）、スペース（狭く→広く）、人数（少数→複数）など安全を確保した適切な段階を踏ませる。

チームの状況に関わらず、安全性を担保できる正しいコンタクトスキルや、怪我を防げる身体的な準備がなければ、初心者を無理にフルコンタクトラグビーの試合に出場させてはならない。

特に初心者については、プレーヤー個人のコンタクトスキルや、怪我を防げる身体の準備などについて、個人の成長に合わせた段階的な指導や、フルコンタクトラグビーの試合への出場時期の見極め等が必要である。

初心者へのコンタクトの練習の初期段階では、ペアとなる相手との体格差についても配慮が必要である。

チームでのコンタクト練習時においても、経験者と初心者を混在させることについては、慎重な判断が必要である。



WRコーチングコンテンツの紹介

シックスステージラグビー

ウェブ検索キーワード: World rugby パスポート



The screenshot shows the 'Coaching' section of the World Rugby website. The main heading is 'Six stages to Rugby'. Below it, there is a navigation menu with options: 'Six stages to Rugby', 'Introduction', 'Guidelines', 'Stage 1', 'Stage 2', 'Stage 3', 'Stage 4', 'Stage 5', and 'Stage 6'. The main content area features a photo of two coaches talking to a group of young players on a field. Text below the photo states: 'The information is organised into a six stage programme. It should be noted that these are six stages and not six lessons. Teachers and coaches should not feel compelled to complete all of the activities from each stage within one lesson or session.'



コーチング

テクニカルコンテンツ

安全を最優先し、決して無理はさせないでください。

ご静聴ありがとうございました

